

緩和ケア病棟の現状



広島市民病院 医療者がん研修会 第7回

平成20年8月21日(木)

安芸市民病院 緩和ケア病棟

松浦 将浩 岡本 真弓



安芸市民病院 緩和ケア病棟の紹介

緩和ケア病棟での看護の実際

安芸市民病院 緩和ケア病棟の紹介





**1. 入院の対象
がんの患者**

2. 入院の目的

- 1) 病気にともなう苦痛の緩和のため**
- 2) 療養生活をおくるため**
- 3) 短期入院**
 - (1) 体験入院**
 - (2) レスパイト**
 - (3) 在宅生活へむけての調整**
- 4) 看取り**



3. 施設の紹介

1) 病室: 全個室 (20 部屋)

2) 室料: 18 部屋が無料個室

2 部屋が特別個室 (1 日 6400 円)

3) その他

家族室、談話室、デイルーム

プレイルーム、アトリウム、心の部屋

特別浴室、一般浴室、家族キッチン

面談室

緩和ケア病棟での看護の実際





1. 緩和ケア病棟の理念

私たちは、

あなたとご家族の価値観を尊重し、

意思や希望にそった、

あなたらしい生活がおくれるように

お手伝いさせていただきます。



2. 看護の実際

- 1) 苦痛の緩和
- 2) 日常生活のお手伝い
- 3) チーム医療のコーディネーター役
- 4) 家族ケア



1) 苦痛の緩和

(1) 全人的苦痛の緩和

身体的苦痛： がんに伴う苦痛 体力の衰え

精神的苦痛： 不安 孤独感 絶望感 恐怖感

社会的苦痛： 家族 経済的 社会的役割

スピリチュアルペイン

生きる意味があるのか

なぜ自分がこんな目にあうのか

ばちがあたった



2) 日常生活のお手伝い

- (1) 食事
- (2) 排泄
- (3) 睡眠
- (4) 清潔
- (5) コミュニケーション



3) チーム医療のコーディネーター役

(1) チーム医療

医師 看護師 栄養士 薬剤師

理学療法士 作業療法士 音楽療法士

歯科医 歯科衛生士

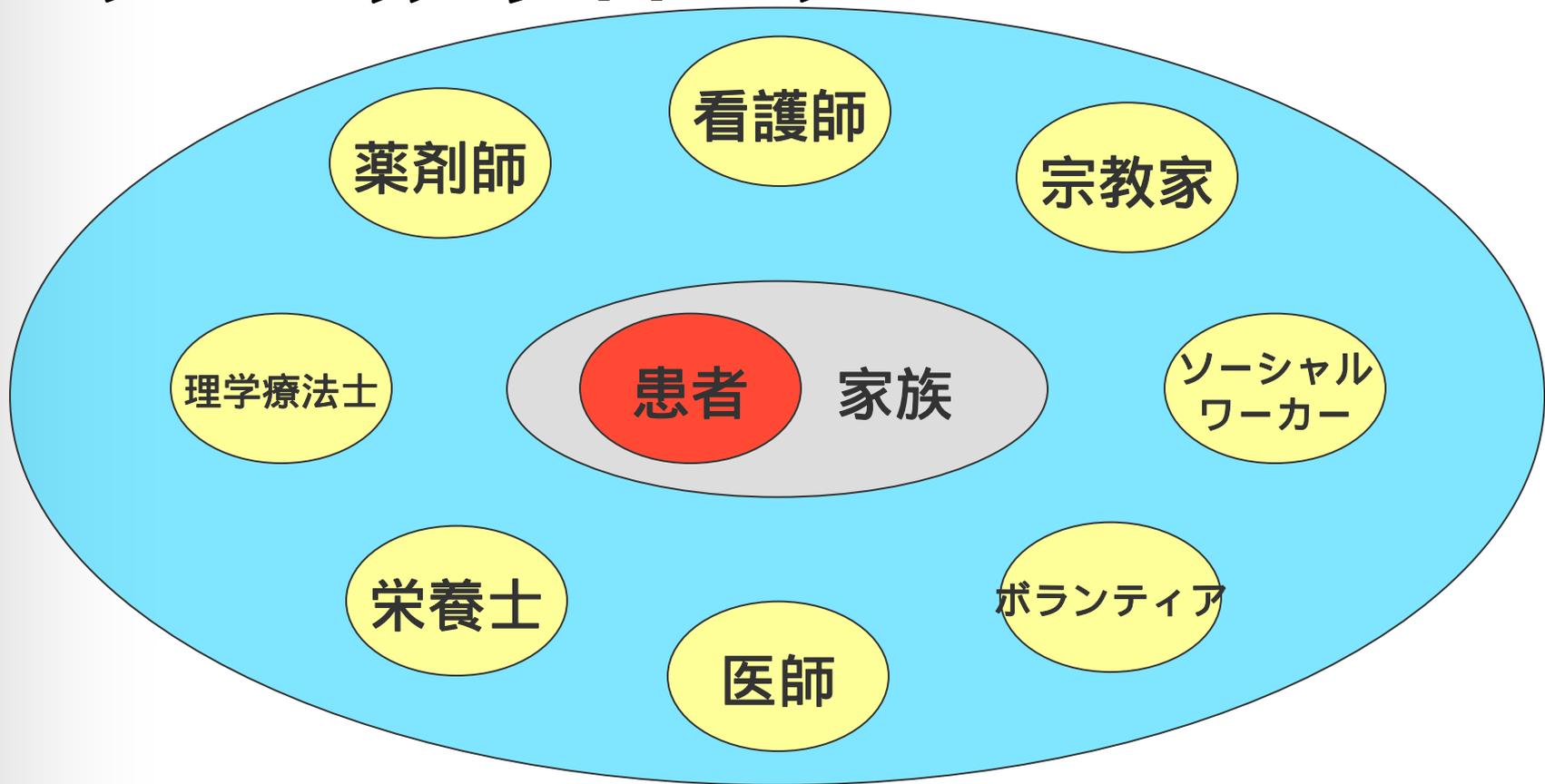
専門ボランティア 一般ボランティア

家族

(2) 24時間患者・家族のそばにいるのは

看護師である

チームアプローチ





4) 家族ケア

- (1) 看護の対象は患者とその家族である。
- (2) 家族は、患者にとって大切な存在である。
- (3) 家族の不安を軽減する。
- (4) かけがえのない大切な人を失うという
つらい体験をする家族の気持ちに寄り添う。
- (5) 看取りの場での支援。



看護で大切にしていること

1. 患者・家族の思いや希望にそったケア
2. 患者・家族の価値観の尊重
3. 患者と家族が大切な時間を過ごせる環境
4. 季節を感じられる環境
5. ユーモアや笑いのある環境
6. 誠実な関わり
7. 謙虚さ
8. やさしさと思いやり
9. あたたかい存在感(人間性と感性)



音楽療法

- 音楽療法とは、音楽を手段として意図的・計画的にアプローチする、非言語コミュニケーション
- 目的はQOLの向上、楽しみとの予定として生活のリズムを整える
- 方法は個人セッションと集団セッション
- 対象は患者と家族



イベント

1. 目的

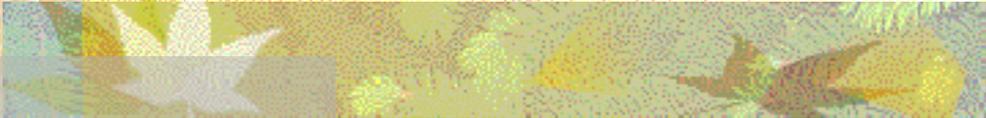
- 1) 患者と家族の思い出となり、楽しい時間が共有できる
- 2) 季節感を味わうことができる

2. 内容

納涼会 クリスマス会 豆まき
ティーサービス お誕生日会など

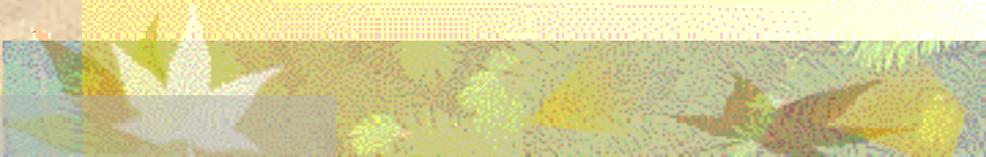
「看取り」について





年間死亡者数

- 平成15年 102万5千人
- **がん:30万9千人(30.1%)**
- 心疾患:16万3千人(15.9%)
- 脳血管疾患:13万5千人(13.1%)



看取りについて

- 看取られる立場の場合
- 看取る立場の場合

抗がん治療の盲点

- 腫瘍マーカーが下がったので
化学療法が効いている
= 治る？
- 早期癌 **根治療法**
失うものは？ 再発の可能性は？
- 進行癌・再発癌 **延命治療**
時間の長さ と 質



人生の選択

- 「専門家に任せる？」
医療の専門家であって
人生の専門家ではない
- 「素人にはわからない？」
医療の素人であって
人生は本人にしかわからない



自分らしい生き方のために

- 自分の意向を明確にすることが大切
- その前提として自分のおかれている状況を把握しないと明確な判断を下せない
- まずは病状を訊く勇気を持つこと
- 自分が決めるという覚悟を持つこと



生への固執

- 必ず訪れる死を避けることだけを目標にすると
敗北の死
- 生 死？
- 「生の凝集したものが死である」
- 大切なのは
「～という状況でどう生きるか」
その結果が死



看取られる立場の場合

- 貴方はどのように看取られたいですか？



生きてきたように死んでゆく

- 善人は苦しまない？
身体的苦痛のことではない
- 人間関係が反映されている
どのように看取られるか



看取られる立場の場合:まとめ

- 自分らしい生き方

情報把握 **自己決定**

- 看取られ方:**協力者の存在**

家庭・社会での人間関係

情報共有 協力の要請

他人と過去は変えられない

自分と未来は変えられる



看取りについて

- 看取られる立場の場合
- 看取る立場の場合



「患者さんのために」の盲点 医療者の立場

- **「世のため、人のため、患者さんのため」
自分のため**
- **告知派・非告知派
医療者の価値観**



「本人のために」の盲点 家族の立場

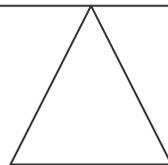
- 「本人には伝えないでください」
- 傷つけないという**思いやり**
- 病名・病状を伝えることでのショックから立ち直れないのではないかという**周囲の不安**
- 医療者や家族の都合が先行して本人のニーズが**置き去りになる可能性**

真実の共有
信頼感・一体感

治療に伴う機能障害
再発・不治の可能性
それらに対する本人の
不信感・失望感・孤独感

ショックを
受ける

ショックを
受けない





真実を伝える不安

- 「伝えないで」=「傷つけないで」
- 聞きたくないことは訊いてこない
- 聞きたくないことを聞かされたときに
大きな衝撃を受けて立ち直れない
ことがある
- 本人のペースに合わせて情報提供



本人の価値観を支える

- 問われる範囲で答えてゆく
- 問われない悪い情報は伝えない
- 「知る権利」・「知りたくない権利」も守る



「痛みの原因はなにか」

～最も多い質問～

- 「どのように説明を受けていますか？」
- 「痛みの原因を確かめるために検査を
しましょうか」
- 「怖いものは見たくないという方も
おられますが、貴方はいかがですか？」



病状説明例

- 「ここに病変があって
どうもこれが痛みの原因のようです」
- 「残念ながら原因を取り除くことができません」
- 「痛み止めを上手に使って
痛みを取っていきましょう」

病名よりも病状に関心

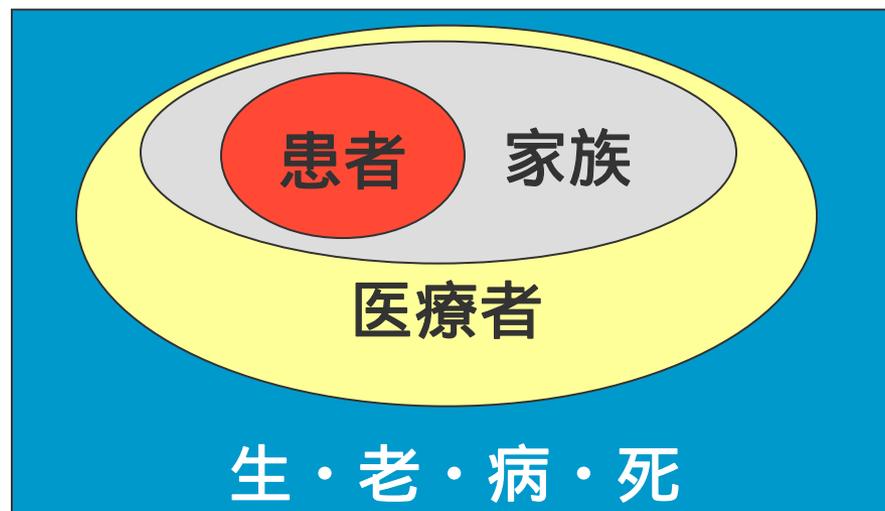
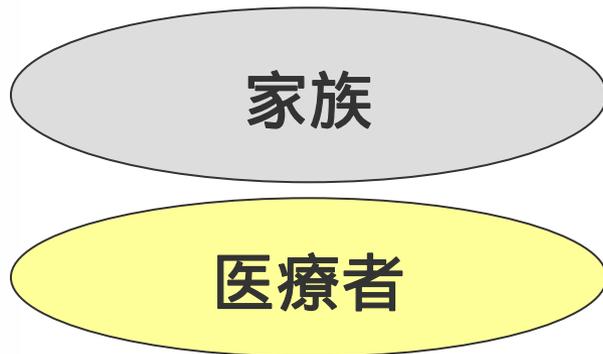
- 「それはがんですか？」は少数派
- 否定を期待した質問に対しては・・・



「ご自身ではどう思われますか」 ～ 予後を訊かれた場合～

- 具体的なニーズがある場合
 - ニーズの**確認**
 - ニーズに沿って**アドバイス**
- 具体的なニーズがない場合
 - ごまかす表現 **×**
 - 希望を交えたうそのない表現

対立の構造から共有へ





看取る立場の場合:まとめ

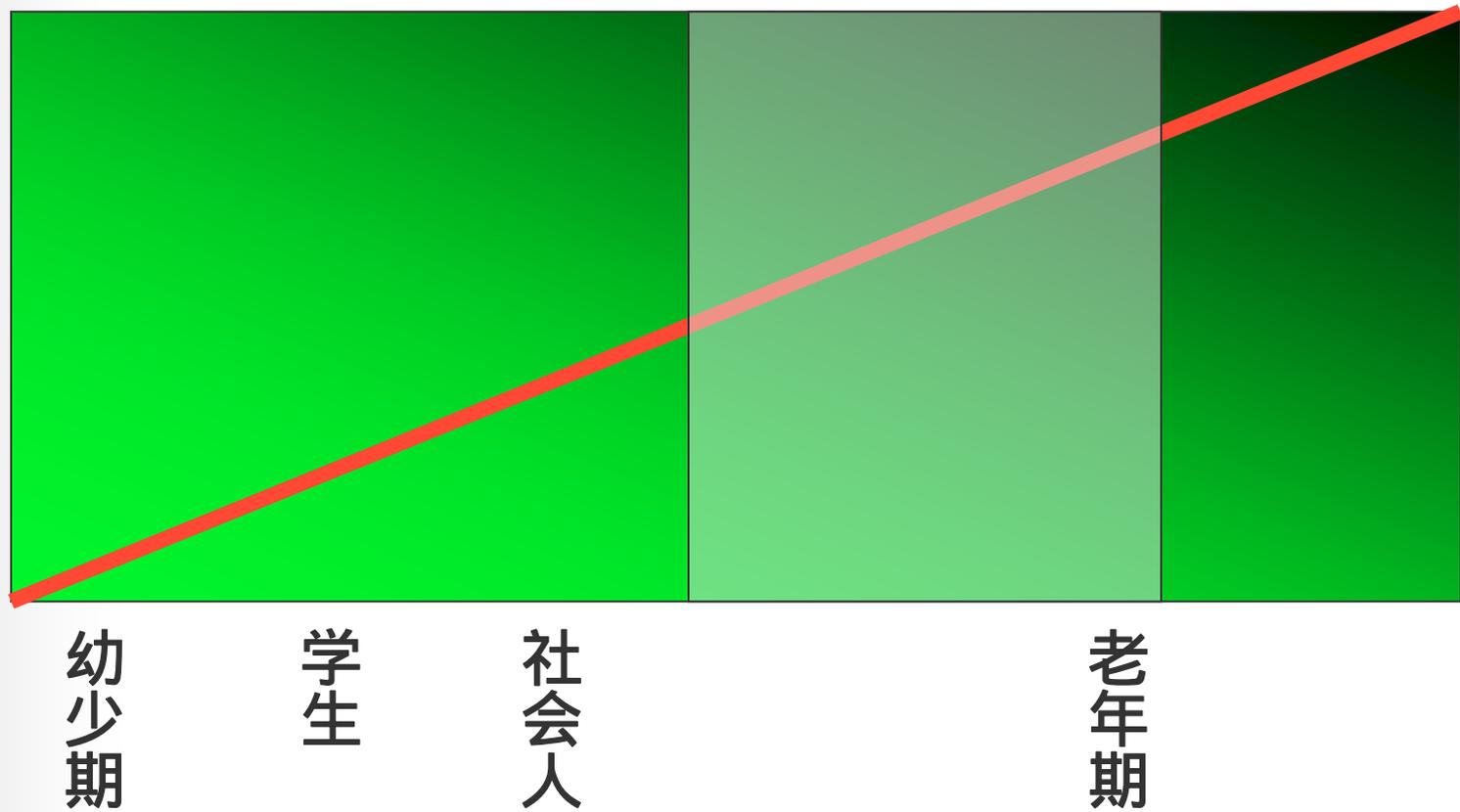
- 情報共有 自己決定の援助

本人の価値観を支える

本人らしい生き方

- 貴方とは異なる価値観の人生を看取る
という姿勢が、後悔を少なくする工夫

同じ時代を生きる





ケアイストの姿勢

先達から学び

成長の糧をうる